日本共産党　和歌山市会議員
ひめだ高広ニュース
NO.1369
'21.12.14

12月定例市議会報告

12月14日（火）議案審査の常任委員会が終わりました。議案に対する態度などは、次号で報告する予定です。今号は、私、ひめだ以外の日本共産党市議団の一般質問について報告します。

ブラック校則の改善を

12月1日（水）日本共産党の坂口多美子市議は、ブラック校則の改善について一般質問しました。坂口市議は、市立中学校に通う生徒から修学旅行前に生徒全員が体育館に集められ、カバンの中や下着のチェック、ボディータッチや髪の中まで検査されたとの相談があったことを紹介。坂口議員は、全国的に髪型や下着の色など必要以上に細かい規則、いわゆる「ブラック校則」が問題になり、文科省は今年の6月8日に「校則の見直しについて」校則が社会常識にあったもので、生徒や保護者の共通理解になったものにという通知を出したことを指摘し、理不尽な校則の改善を要求。

市営松ケ丘団地建替えを

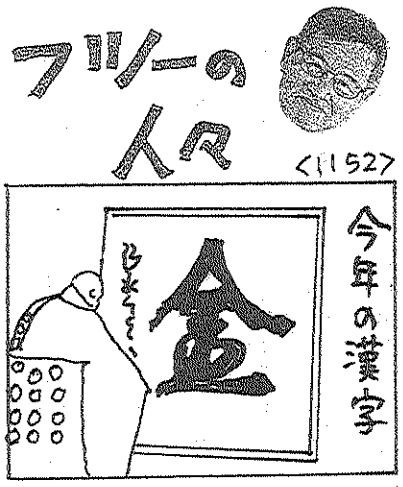
12月1日（水）日本共産党の中村あさと市議は、公営住宅について一般質問。

中村あさと市議は、市営住宅長寿命化計画に基づく整備を進めていますが松ケ丘団地は建替えの対象になっていません。

中村あさと議員は松ケ丘団地の入居を求める市民の声を紹介し、1955（S30）年に建設された松ケ丘団地の建替えを要求しました。

中村あさと議員は、地球温暖化対策について市の目標や取り組みを聞くとともに住宅リフォーム助成制度にならい外壁や屋根、窓や玄関など断熱性のすぐれた住宅や空き家の活用を本市でも進めることを求めました。

フツーの人々



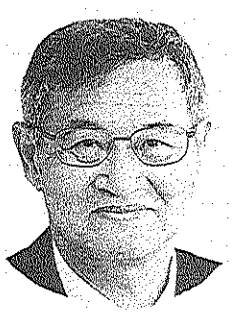
今週のフツーの人々（その315）

今年の漢字2021

日本漢字能力検定協会が漢字一文字で今年の世相を表す「今年の漢字」に選ばれたのは22万3クク3票の応募のうち最多の一万4222票を集めた「金」。2位は「輪」（1万3044票）、3位は「楽」（6ノク6票）といずれもオリンピック関連で、「金」は00年のシドニー、'12年のロンドン、'16年のリオデジャネイロに続き千回目となります。

今回の理由は日本人選手の金メダルのほか、米大リーグの大谷選手、ゴルフの松山選手、将棋の藤井三冠が打ち立てた金字塔、新型コロナでの休業支援金などがあげられたということです。

「金」の一文字で金メダルをかじって男を下げた市長や雇用調整助成金をもらって内閣官房参与を数日で辞任した元大臣の顔を思い浮かべるのは私だけでしょうか？



ひめだ高広

カジノよりライフラインを

12月2日（木）日本共産党の森下さちこ市議はIR カジノについて一般質問。

森下議員は11月19日の県議会IR特別委員会に区域整備計画原案が委員に示されたものの資金面やカジノの事業主体が明らかにされなかったため予定されていた公聴会や説明会、パブリックコメントが延期されたことから、事業者と県の姿勢について市長の見解を質しました。森下議員は、どうなるか分からない事業に期待している暇はない、それよりも今回の水管橋崩落事故を受け、直ちにライフラインの整備に集中すべきだと指摘し、市長からもIR計画の中止を進言するよう求めました。

断水問題の住民支援

12月2日（木）日本共産党の南畑さちこ市議は水管橋崩落の諸問題について一般質問しました。南畑議員は断水により給水所となった校庭で2時間遊ぶ、毎日10～20リットルの水を運ぶ、エレベーターのない市営・県営住宅やアパート住人の大変さ、腰を痛めたりした方もいたこと、また多くの方が遠くのお風呂やコインランドリーに行くため出費を強いられたと指摘し、市が示している水道料金1か月分の減免だけでなく、そうした方々への支援策を求めました。また断水時の給水場所の数を増やすことや給水や運搬に関する市民への対応について、改善を求めました。

ジェンダー平等、市の取組

12月3日（金）日本共産党の井本有一市議はジェンダー平等について一般質問。井本議員は、世界経済フォーラムが今年3月に各国における男女格差を測るジェンダーギャップ指数で、日本が156か国中120位で先進国の最低レベルになっていると発表したことを紹介。市が性別による差別的な扱いを受けないことなどを定めた男女共同参画推進条例を制定し、女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画を策定していることから、この取り組みを質しました。全国市町村平均で11%の女性の管理職登用で市は15%という低い目標の上、9.6%で進んでいません。

こんにちは 日本共産党です

中国は人権抑圧の是正を

日本共産党の志位和夫委員長は13日、「中国に人権抑圧の是正と五輪憲章の順守を求めよ！五輪開会・閉会式への政府代表の不参加は当然！」と題する声明を発表しました。

この間、中国政府によって行われてきた香港の民主化を求める勢力への弾圧は「一国二制度」という国際公約に反し、新疆ウイグル自治区での少数民族への抑圧、性暴力を告発した女子テニス選手の消息不明などの人権侵害も国際法の重要な違反です。

選手の派遣は保証すべきですが、大会の開会式への政府代表の派遣は中国の人権抑圧の黙認となりかねず、代表派遣すべきではありません。

日本政府は中国政府に対し及び腰の態度をあらため国際法に基づき人権侵害の是正と五輪憲章の順守を求めるべきです。

「嫌われた監督」を読んで

「落合博満は中日をどのように変えたのか」を副題にプロ野球で3度の三冠王、中日の監督8年間すべてでAクラス入り、4度のリーグ優勝と1度の日本一を果たしながら中日を追われた落合監督と選手、スタッフの関係を当時の日刊スポーツ記者・鈴木忠平氏が週刊文春に連載した話の単行本。孤高のプロ野球監督の生きざまをそっとのぞいたような読み物でした。